

SAPIX	5年						
	算数						
学習内容	20回 総合（16～19） 21回 図形の移動 22回 旅人算（3） 23回 時計算						
家庭学習ポイント	夏期講習をはさんだ20回は総合回で、16回～19回の復習です。割合の分野の大部分（「割合（1）～（4）」）を総復習する良い機会になると思います。21回「図形の移動」では、図形の平行移動、転がり移動、回転移動を学習します。特に転がり移動については「直前上の転がり」「図形の外側の転がり」「図形の内側の転がり」が出てきます。転がった様子を必ず図に書き、図形が通った部分を目に見える形で確認する（斜線を入れるなど）ことが大切です。22回「旅人算（3）」では、速さの問題について比の考え方を積極的に使って考えていきます。比を学習する前は「差集め算」の考え方で解くしかなかった問題も、比の考え方を使えばシンプルに、速く解くことができることを1つ1つの問題において体感することが最大のポイントです。「家から学校まで分速100mで歩くと3分早くつき、分速60mで歩くと5分遅刻する」といった問題は典型的ですね。それぞれの問題について「簡単だ」と感じて必ず状況を示す図を書くことも、今後続けていきたい習慣です。23回「時計算」においてもポイントは図を書くことです。また「5.5で割る」という「作業」を単なる「作業」にしてしまうのではなく、常に「分針と時針の1分に進む角度の差」であることを意識して取り組みましょう。						
課題の把握と解決策	チェック1	「もとにする量」「くらべる量」「割合」を正しく理解できていますか？					チェック
	解決策	言葉の定義よりも「もとの数を何倍かする（これが割合）と比べる数になる」感覚が大事です					□
	チェック2	速さの問題では常に「比をどのように使えるか」を意識して取り組んでいますか？					チェック
	解決策	そのくらい速さの問題では比の考え方を多用します。積極的に使っていきましょう					□
	チェック3	速さの問題では「必ず図を書く」を実行していますか？					チェック
	解決策	「図を書かず解ける簡単な問題」は書いても数秒～十数秒しかかかりません。端折らないことが大切					□
	チェック4	時計算ではスタート時の様子を図に書いていますか？					チェック
	解決策	「1時と2時の間で」ならまず1時の状態を図示しよう。何度追いつていけばいいか、勘違いが減ります					□
	チェック5	「÷5.5」「×2/11」を機械的に使っていませんか？					チェック
	解決策	常に「分針と時針の1分に進む角度の差」であることを意識することが大切です					□
SAPIX	5年						
	国語						
学習内容	20回 コトノハ／ひと夏の夢 物語文 21回 知の冒険／相手を大切にすること 物語文 22回 コトノハ／敬老の日 説明文 23回 コトノハ／これからの地球 物語文						
家庭学習ポイント	A授業、B授業とも、説明文と物語文の配分が1：2程度となっています。A授業の「コトノハ」では「うさぐさ」「いがみ合う」「風体」「躊躇」「後進」「大義」「はばかり」など、お子さんが普段使わない語彙のオンパレードです。なんとなく、雰囲気だけをつかむのではなく、解説を活用し「どのような場合に使うことなのか」をしっかりイメージできるように、時には親御さんのアドバイスも必要であり効果的かと思います。お子さんの日常の中で、出てきた新しい言葉を使うとしたらどのような場面が適しているか、親子で話し合ってみるのもよいでしょう。21回「知の冒険」は敬語についてです。特に謙譲語については親御さんのアドバイスが効果的かと思います。上記「コトノハ」の語彙同様、いろいろなシチュエーションと言葉をお子さんに投げかけてみてください。「行く⇒いらっしゃる⇒参る・うかがう」「言う⇒おっしゃる⇒申す・申し上げる」などの変換ゲームを親子で行うのもいいですね。						
課題の把握と解決策	チェック1	物語文で登場人物の心情を「この表現からわかる」と説明できていますか？					チェック
	解決策	情景、場面の变化から心情を読み取る問題が増えます。意識して表現を読み取る練習をしましょう					□
	チェック2	お子さんの語彙について、おおまかに総量を親御さんがつかんでいますか？					チェック
	解決策	塾の指導は読解偏重気味であることが多く、親御さんのアンテナが重要です					□
	チェック3	尊敬語と謙譲語の違いについて、正しく説明できますか？					チェック
	解決策	「行為をしているのが誰か」に注目して考えるようにアドバイスしてあげましょう					□
	チェック4	「主人公と似た体験が自分にはないからわからない」と諦めていませんか？					チェック
	解決策	国語の問題では「必ず書かれた情報から推測できるようになっている」と伝えましょう					□
	チェック5	漢字や語句の学習について「ルーティン」が守られていますか？					チェック
	解決策	学校が始まり「ルーティン」が崩れないようチェックと声掛けが必要です					□

SAPIX	5年						
	理科						
学習内容	20回 浮力①～力学⑤～ 21回 水溶液の性質②～物質の性質と変化⑤～ 22回 溶解度①～物質の性質と変化⑥～ 23回 動物の分類①～動物のつくりとはたらき①～						
家庭学習ポイント	20回で力学を学習した後、水溶液について2回、動物の分類についての学習が続きます。「浮力①」では、まずは物質の重さと密度について学習し、引き続いて「水に沈むもの」「水に浮くもの」それぞれについて浮力の考え方、計算のしかたについて学習します。「アルキメデスの原理」が大元の考え方にはなりますが、字面でこの原理を覚えることには大きな意味はありません。それより「水（などの流体）を押しつけたら、押しつけた分だけ押し返される」というイメージをしっかりと持つことが大切です。「10人の人を押しつけたら、その10人に押し返された」といった具体的なイメージに置きかえてもいいでしょう。21回「水溶液の性質②」では、水溶液と金属の反応、酸とアルカリの水溶液について、その性質と代表的な水溶液、指示薬の変化などについて学習した後、中和計算に入ります。水溶液と金属の反応については、塩酸と水酸化ナトリウム水溶液について、アルミニウム・鉄・亜鉛・銅との反応を一覧表にして整理しておくといいでしょう。中和反応については「ことばの式」を書いて条件整理をして解くことが定番であり必須ですね。22回「溶解度」では小数第3位、第4位までの計算がどんどん出てきます。「わかっているのに計算が合わない」とならないよう「一問を解ききるまでの集中力」を意識して取り組みましょう。						
課題の把握と解決策	チェック1	浮力の「押しつけた分だけ押し返される」具体的なイメージを持っていますか？					チェック
	解決策	人に置きかえて「10人の人を押しつけたら、その10人に押し返される」でもいいですね					□
	チェック2	水溶液の性質を調べる指示薬の色の変化を正確に覚えていますか？					チェック
	解決策	特に因果関係などがあるものばかりでもないので、語呂合わせなども活用しましょう					□
	チェック3	中和計算「一方が足りない場合」を正しく理解できていますか？					チェック
	解決策	完全中和しない場合は必ず一方が不足（あまる）状態です。「完全中和」を基準に考えましょう					□
	チェック4	溶解度計算で「書き出して整理」せずに計算を始めていませんか？					チェック
	解決策	必ず「水温・水量・とける量」を書き出して比較することが大切です。やはり端折るのはNGです					□
	チェック5	セキツイ動物の分類が正しくできますか？					チェック
	解決策	コウモリ⇒飛ぶけど哺乳類・ペンギン⇒飛ばないけど鳥類、など間違いやすいものに注意しましょう					□
SAPIX	5年						
	社会						
学習内容	20回 地形図の読み取り 21回 国のはじまり 22回 律令国家へ 23回 平城京・平安京						
家庭学習ポイント	20回で地形図の読み取りについて学習した後、歴史の学習に突入します。以後、5年生の終わりまで歴史の学習一色になりますから、一方で地理の復習を日常の家庭学習の中に少しずつでもとり入れられるかどうか、大きなポイントになります。9月の歴史の学習内容は、古代から始まり平安時代までになります。歴史学習の最大のポイントは「出来事と出来事のつながり・因果関係」をしっかりと理解することです。このとき、その時代に活躍した主要な人物を軸につかむことが大きなポイントになります。たとえば平安時代中期の政治史であれば、その中心人物は間違いなく藤原氏であり、藤原氏が政敵を倒して摂政を独占していく流れを、しっかりと掴んでおくことが最大のポイントになります。江戸時代～近代とくらべてまだ登場人物は少なく、流れをシンプルに理解しやすいので、ぜひこの時期に歴史の学習のしかたの「スタイル」を確立してしまいましょう。人物名などを漢字で書く習慣をつけることも大切です。また地理の学習から離れて忘れてしまいがちですが、それぞれの時代を中心となる舞台が日本地図上でどこなのか、把握しておくことも大切です。						
課題の把握と解決策	チェック1	主な地図記号を覚えていますか？					チェック
	解決策	間違いやすい「小中学校と高等学校」「病院と保健所」などに注意しましょう					□
	チェック2	縮尺の換算を正しく計算できていますか？					チェック
	解決策	おもに出てくる縮尺は5万分の1と2万5千分の1です。特に単位の換算に注意しましょう					□
	チェック3	歴史学習の入り口として、マンガなどを活用していますか？					チェック
	解決策	大まかな流れを予め掴んでおくことも有効な準備となります					□
	チェック4	ルーティンの学習に地理を組み込んでいますか？					チェック
	解決策	組分けテストなどには地理分野も出題されると心得ておきましょう					□
	チェック5	歴史学習の「スタイル」を確立できていますか？					チェック
	解決策	古代～中世くらいのうちに「因果関係で流れを掴む」学習法を身につけてしまいましょう					□